

令和6年(2024年)4月9日 (火曜日)

# 市民の手で再生、保存

## 早稲田大学生ら

### 三島の水辺視察

景観・デザイン、まちづくりなどを学ぶ早稲田大創造理工学部の学生ら8人が5、6日、三島市で視察研修に取り組んだ。NPO法人グラウンドワーク(GW)三島の案内で、市内各地を巡り、市民が中心となって再生・保全される水辺を見学した。

同学部社会環境工学科景観・デザイン研究室の佐々木葉教授とゼミ生の修士1、2年の学生、OBが訪れた。同研究室は地域の水に注目したまちづくりに着目している。修士2年の太田広之さんがGW三島でインターン(就業体験)をしている縁もあり、視察研修を行った。

5日は源兵衛川などを見学した。川の再生活動をしてきたGW三島の関係者が川の美しさや水量などを解説し、学生らが興味深く聞いた。6日は同市御園地区の松毛川で植林活動などに取り組んだ。

佐々木教授は「三島市はデザインとしても定評があり、地域の人々が自分たちの手で整備してきたという有名な成功事例」と語った。



GW三島の関係者から説明を受ける学生ら＝三島市内